

## オーディオミキサー

取扱説明書

工事説明付き

品番 WR-X12K

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

# RAMSA



上手に使って上手に節電

このたびは、ラムサ オーディオミキサーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

## はじめに

---

### ■商品概要

本機は、14入力、メイン出力4系統、VCA 2回路を備えた、操作の簡単なコンパクトミキサーです。

●デュアルレベルコントロール

マイク入力レベル(-60dB)からライン入力レベル(-10dB)まで、フェーダ操作だけで音量調節できます。

●ボーカル/スピーチ切換式イコライザ内蔵(モノラル入力)

ボーカル、スピーチそれぞれに適した音質を選択できます。

●VCAを採用(2回路)、離れたところから音量調節できます。

●上面、後面の2面取り付け構造

ラックマウント、壁付け、テーブル埋め込みなどの設置方式がとれます。

●トータルコンプレッサ採用(モノラル入力)

過大入力による歪を防ぎます。

●ステレオミュート機能(1回路)

他のステレオ入力があると、ステレオ入力5のレベルが下がります。

### ■付属品をご確認ください

リモコン用コネクタ(9P) .....|  
セッティングマーカ .....|  
ラックマウントねじ(M5×12) .....4

記名シール .....|  
取扱説明書(本書) .....|  
保証書 .....|

# 目次

---

●取扱説明	
はじめに	2
安全上のご注意	4, 5
使用上のお願い	5
各部の名称と働き／信号の流れ	6, 7
各部の名称と働き／接続のしかた	8, 9
ブロックダイアグラム	10, 11
レベルダイアグラム	12
仕様	13
リモコンについて	14, 15
●工事説明	
設置のしかた	16, 17
用途により変えられます	18
外観寸法図	19
●保証とアフターサービス	裏表紙

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

### 異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



火災やけがの原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いが出る、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 電源コードを熱器具に近づけない



コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。

禁止

### 電源コードは、必ず プラグ本体を持って抜く



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

### 濡れた手で、電源プラグ の抜き差しはしない



感電の原因となります。

禁止

### 電源コードを傷つけない



重いものをのせたり、はさんだりするとコードが傷つき、火災や感電の原因となります

禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

## ⚠ 注意

### コネクタの抜き差しは、 電源を切ってから行う

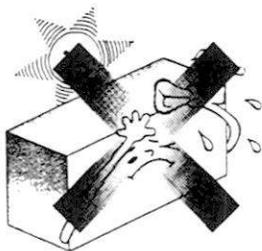


クリック音でスピーカーが破損する原因となります。

## 使用上のお願い

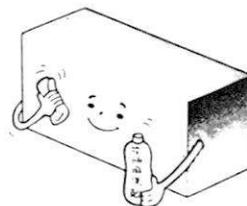
### ●本機の設置場所は

直射日光の当たる所や温風吹出口近くは避けてください。また、湿気、ほこりおよび振動の多い場所に設置すると故障の原因になることがあります。



### ●お手入れ

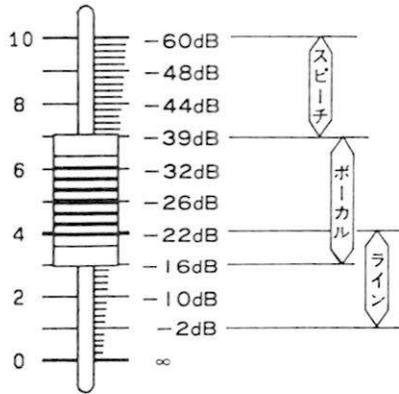
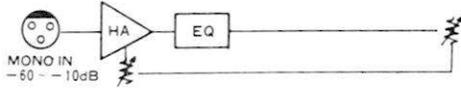
- ケースの汚れは乾いた布でふいてください。ひどい汚れは、水か台所用洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしておきます。
- ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。ケースが変形したり、変色することがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。



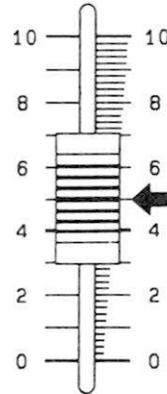
# 各部の名称と働き/信号の流れ

## ■モノラル入力フェーダの適合位置

入力ゲインと送り出しレベル調節を連動し（デュアルレベルコントロール）、マイクからラインまで幅広く音量調節できます。（モノラル入力1~4）



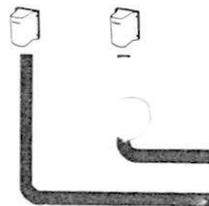
■各フェーダ(つまみ)の普段使用する音量の位置にセッティングマーカ(付属品:◀◀)を貼り、めやすとします。



ワイヤレスマイク

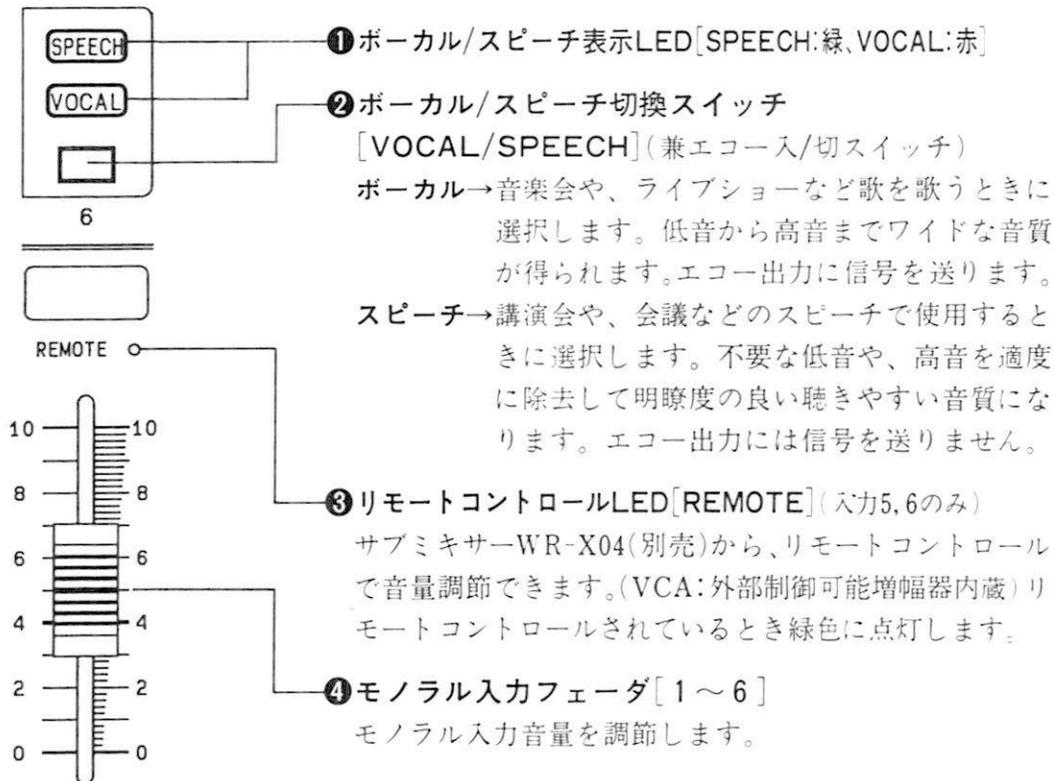


ワイヤレスアンテナ

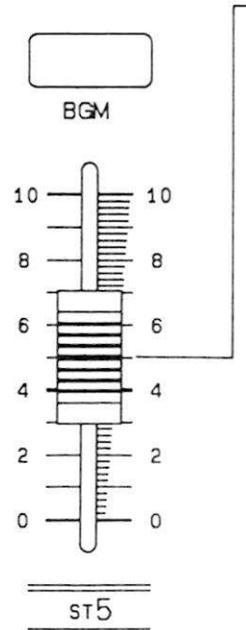


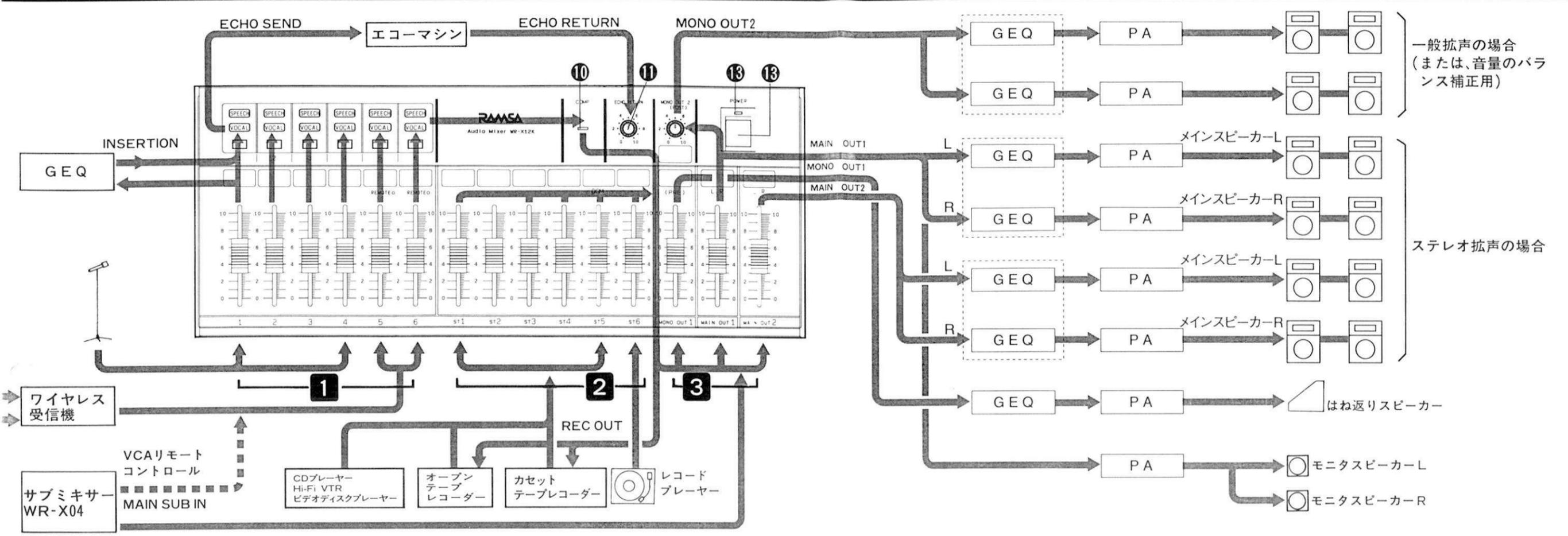
●0~2目盛の間は音がひずみやすいので、接続する機器は出力レベル-10dB以下のものをお使いください。

## 1 モノラル入力部



## 2 ステレオ入





一般拡声の場合  
(または、音量のバランス補正用)

ステレオ拡声の場合

カ部	3 メイン出力部	用語の解説
<p>⑤ステレオ入力フェーダ[ST1~6] ステレオ入力音量を調節します。</p> <p>入力1, 2→カセットデッキなど出力レベルの低い機器を接続します。</p> <p>入力3~6→CDプレーヤー、VTR音声など出力レベルの高い機器を接続します。</p> <p>入力5 →ステレオミュート機能内蔵。他のステレオ入力があると、入力5のレベルが下がります。(約20dB)</p> <p>入力6 →レコードプレーヤーと切替(後面スイッチにてPHONO -48dB側に切替)</p>	<p>⑥モノラル出力2音量つまみ [MONO OUT2(POST)] (モノラル出力2音量はメイン出力1の音量に比例します。)</p> <p>⑦スピーカーの系統名などを貼り付けます。</p> <p>⑧モノラル出力1フェーダ [MONO OUT1(PRE)] モノラル出力1の音量を調節します。</p> <p>⑨メイン出力フェーダ [MAIN OUT1,2] メイン出力(ステレオL・R)の音量を調節します。</p>	<p>⑩コンプレッサー作動LED [COMP] 設定してある値より大きい信号が入力すると、コンプレッサーが働き、LEDが赤く点灯します。(モノラル入力)</p> <p>⑪エコーリターン入力音量つまみ 接続してあるエコーマシンなどからの入力音量を調節します。</p> <p>⑫電源表示灯(赤)</p> <p>⑬電源スイッチ [POWER] 電源を入/切するスイッチです。</p>
		<p>PA : パワーアンプ</p> <p>GEQ : グラフィックイコライザ</p> <p>メインミキサー : 主装置として設置されている大型ミキサーや、サブミキサーでリモートコントロールされるWR-X12Kなど。</p> <p>サブミキサー : メインミキサーの入力数を増やすために増設したり、WR-X12Kなどのメインミキサーをリモートコントロールするミキサー。</p>



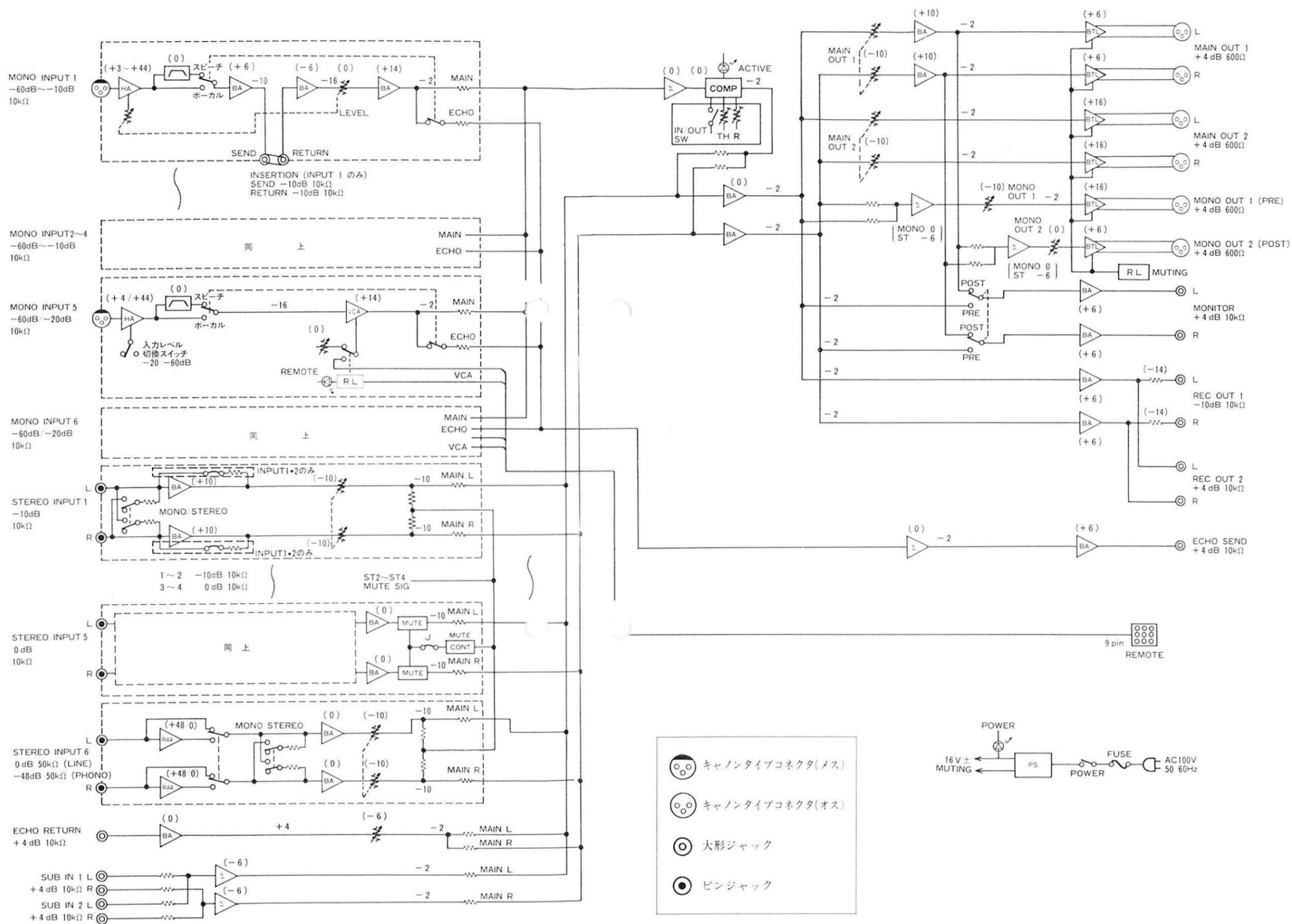
<b>①</b> モノラル 入カコネクタ (MONO INPUT) 1~6 6回路 ピン番号 2 ホット 3 コールド 1 アース	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入力レベル -60~-10dB (入力1~4) -60/-20dB切換 (入力5,6) スイッチ②で切り換えます。 インピーダンス 10kΩ 電子バランス入力</li> <li>●キャノンコネクタ(XLR-3-12C)相当で接続</li> <li>●マイクロホンやモノラルのライン機器が6台 まで接続できます。</li> </ul> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コンデンサマイクロホンは、電池を使用してください。</li> </ul>	<b>⑩</b> エコーリターン ジャック (ECHO RETURN) 1回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入力レベル +4dB インピーダンス 10kΩ 不平衡</li> <li>●単頭プラグで接続</li> <li>●エコーマシン出力の信号を受けます。</li> </ul>
<b>②</b> 入力レベル 切換スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モノラル入力5,6のレベルを切り換えます。 (-60/-20dB)</li> </ul>	<b>⑪</b> 録音出力 ジャック (REC OUT) 1・2 ステレオ 2回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出力レベル -10dB (出力1) +4dB (出力2) インピーダンス 10kΩ 不平衡</li> <li>●ピンプラグで接続 ステレオのカセットテープレコーダなどに録音できます。</li> <li>●ステレオメイン出力フェーダの前の信号を送り出しています。</li> </ul>
<b>③</b> ステレオ 入カジャック (STEREO INPUT) 1~6 ステレオ 6回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入力レベル -10dB (入力1,2) 0dB (入力3~5) 0dB/-48dB切換 (入力6) インピーダンス10kΩ 不平衡(入力1~5) 50kΩ 不平衡(入力6)</li> <li>●ピンプラグで接続</li> <li>●CDプレーヤー・テープレコーダー・HiFi VTR・ビデオディスクプレーヤーなどのAV 機器が6台まで接続できます。</li> <li>●レコードプレーヤーは入力6に接続。切換ス イッチ⑥をPHONOにします。</li> </ul>	<b>⑫</b> モノラル出力 1ジャック (MONO OUT 1) 1回路 プリフェーダ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出力レベル +4dB インピーダンス 600Ω 電子バランス出力</li> <li>●キャノンコネクタ XLR-3-11C)相当で接続</li> <li>●ミキシングモノラル信号(メイン出力フェーダ の前の信号)を送り出します。</li> </ul>
<b>④</b> ステレオ/モノラル 切換スイッチ [MONO/ST]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●MONO:ステレオ入力1~6をモノラルに 切り換えます。</li> </ul>	<b>⑬</b> モノラル出力 2ジャック (MONO OUT 2) 1回路 ポストフェーダ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出力レベル +4dB インピーダンス 600Ω 電子バランス出力</li> <li>●キャノンコネクタ XLR-3-11C)相当で接続</li> <li>●本機のミキシングモノラル信号を送り出しま す。</li> </ul>
<b>⑤</b> アース端子 [GND]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レコードプレーヤーは、アースを必ず接続し てください。</li> </ul>	<b>⑭</b> リモコン用 コネクタ [REMOTE]	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サブミキサーからリモコン操作(音量調節) する場合に使用します。</li> <li>●ラックなどの電源制御をするときに使用します。</li> <li>●付属9Pコネクタで接続(8ページ)</li> </ul>
<b>⑥</b> フォノ/ライン 切換スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ステレオ入力6をPHONO/ラインに切り 換えます。</li> </ul>	<b>⑮</b> メイン サブ 入力1・2 (MAIN SUB IN) 1,2 L,R ステレオ 2回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入力レベル +4dB インピーダンス 10kΩ 不平衡</li> <li>●単頭プラグで接続</li> <li>●サブミキサーの出力を接続します。</li> </ul>
<b>⑦</b> メイン出力 コネクタ1,2 (MAIN OUT) 1,2 L,R ステレオ 2回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出力レベル +4dB インピーダンス 600Ω 電子バランス出力</li> <li>●キャノンコネクタ(XLR-3-11C)相当で接続</li> <li>●本機でミキシングしたステレオ信号を送り出 します。</li> </ul>	<b>⑯</b> インサージョン 入出力ジャック (INSERTION) 1回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モノラル入力1にリミッターやグラフィックイコラ イザなどを接続するコネクタです。</li> <li>●入出力レベル -10dB 不平衡 インピーダンス 10kΩ</li> <li>●大形複式プラグで接続 [チップ:リターン] [リング:センド] [スリーブ:グラウンド]</li> </ul>
<b>⑧</b> モニタ 出力ジャック (MONITOR) L,R ステレオ 1回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出力レベル +4dB インピーダンス 10kΩ 不平衡</li> <li>●単頭プラグで接続</li> <li>●外部にパワーアンプを用意して、スピーカーに よるステレオモニタをする際に使用します。</li> <li>●主にミキサー室のモニター用に使用します。</li> </ul>	<b>⑰</b> エコーセンド ジャック (ECHO SEND) 1回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出力レベル +4dB インピーダンス 10kΩ 不平衡</li> <li>●単頭プラグで接続</li> <li>●エコーマシン・リバーブマシンなどへ送出 し、モノラル入力系統のエコーをかけるのに 使用します。</li> </ul>

0dB=0.775Vrms

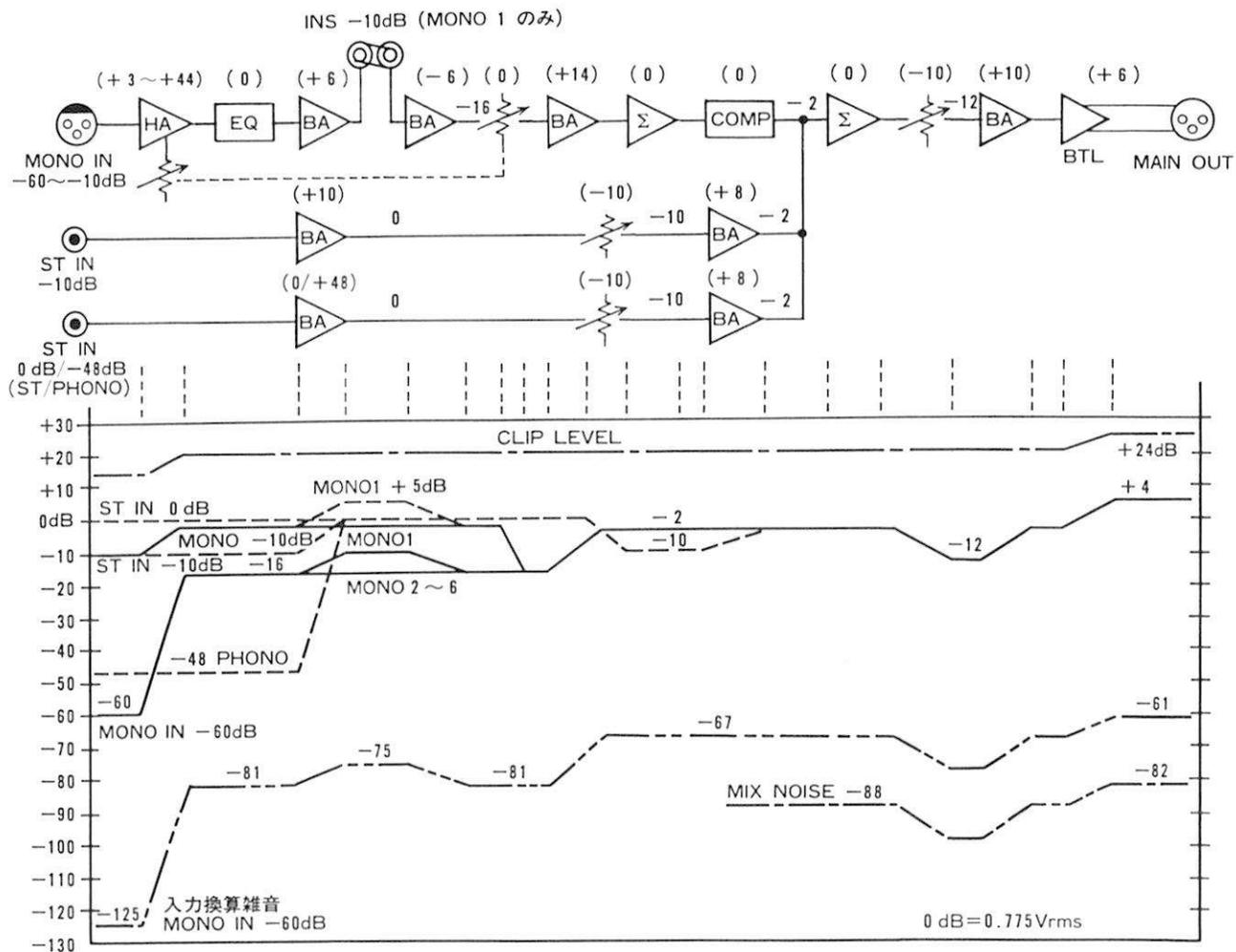
### お願い

- 音声入出力線はシールド線をご使用ください。
- ハイ・インピーダンスマイクロホンを接続する場合は、ケーブルの長さを10m以下でご使用ください。ケーブルの容量成分によって高域特性が低下することがあります。
- ロー・インピーダンスマイクロホン(150Ω、250Ωまたは600Ω)を使用する場合は、50m程度の長さまでは実用上の支障は生じません。
- レコードプレーヤーを接続する場合は、必ずアース端子にレコードプレーヤーのアース線を接続してください。
- エコーマシンなどと本機との間で入・出力ケーブルを接続する場合、入・出力のシールド線は互に離れないように配線してください。ミキサーとの間で配線ループができると外部ノイズを受けやすくなります。
- スピーカー線と入力線を近づけますと入・出力の組合せにより機器の動作が不安定になり、発振する場合がありますので近づけないでください。

# ブロックダイアグラム



# レベルダイアグラム

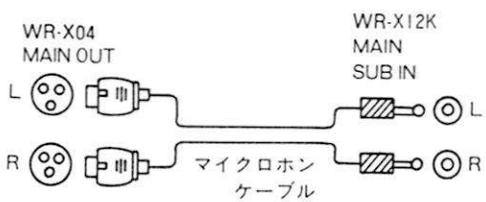


# 仕様

- 電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力(注)：33W (注)この表示は、電気用品取締法技術基準に基づくものです。
- 周波数特性：20～20kHz $\pm$ 0.5dB (ステレオ入力時)  
20～20kHz $\pm$ 0.5dB (モノラル入力時 -60dB「ボーカル」選択時)  
300～6kHz $\pm$ 2.0dB (モノラル入力時 -60dB「スピーチ」選択時)
- 全高調波歪率：0.05%以下 (MONO INPUT -10dB「ボーカル」選択時、20～20kHz MAIN OUT +4dB 600 $\Omega$ )
- 入力換算雑音：-125dB以下 (ソースインピーダンス 150 $\Omega$ 、AUDIO BAND FILTER WTD.)  
-127dB以下 (ソースインピーダンス 150 $\Omega$ 、IHF-A FILTER WTD.)
- 残留雑音：-91dB以下 (全ての音量つまみ及びフェーダ絞りきり AUDIO BAND FILTER WTD.)
- 最大入力
- モノラル入力：+10dB以上 1kHz (感度 -10dB時 THD 0.1%)  
ステレオ入力：+20dB以上 1kHz (感度 0dB時 THD 0.1%)
- 最大出力：+24dB以上 1kHz (コンプレッサSW“OUT”、MAIN OUT 600 $\Omega$ 負荷、THD 0.1%)
- クロストーク：-70dB以下 1kHz (インプットチャンネル間)  
-60dB以下 10kHz (インプットチャンネル間)
- 同相除去比：60dB以上 1kHz (モノラル入力 -60dB感度)
- 最大電圧利得：74dB $\pm$  2dB (モノラル入力 コンプレッサSW “OUT”、MAIN OUT 10k $\Omega$ 負荷)  
34dB $\pm$ 1.5dB (ステレオ入力 1・2 ST/MONO SW “ST”、MAIN OUT 10k $\Omega$ 負荷)  
24dB $\pm$ 1.5dB (ステレオ入力 3～6 ST/MONO SW “ST”、MAIN OUT 10k $\Omega$ 負荷)
- 入力回路
- モノラル入力1～4：-60dB～-10dB 10k $\Omega$  電子バランス 4回路 (キャノンタイプコネクタ(XLR-3-31)相当)  
モノラル入力5, 6：-60dB/-20dB切換 10k $\Omega$  電子バランス 2回路 (キャノンタイプコネクタ(XLR-3-31)相当)  
インサクション：センド/リターン (モノラル入力1のみ)  
-10dB 10k $\Omega$  不平衡 1回路 (複式ジャック)
- ステレオ入力1, 2：-10dB 10k $\Omega$  不平衡 ステレオ入力(L/R) 2回路 (ピンジャック) (ジャンパーにより-20dBに変更可)  
ステレオ入力3～5：0dB 10k $\Omega$  不平衡 ステレオ入力(L/R) 3回路 (ピンジャック)  
ステレオ入力6：0dB/-48dB切換 50k $\Omega$  不平衡 ステレオ入力(L/R) 1回路 (ピンジャック)
- サブ入力：+4dB 10k $\Omega$  不平衡 ステレオ入力(L/R) 2回路 (単式ジャック)
- エコーリターン：+4dB 10k $\Omega$  不平衡 モノラル入力 1回路 (単式ジャック)
- 出力回路
- メイン出力(ステレオ)：+4dB 600 $\Omega$  電子バランス ステレオ出力(L/R) 2回路 (キャノンタイプコネクタ(XLR-3-32)相当)  
モノラル出力：+4dB 600 $\Omega$  電子バランス モノラル出力 2回路 (キャノンタイプコネクタ(XLR-3-32)相当)  
録音用出力1：-10dB 10k $\Omega$  不平衡 ステレオ出力(L/R) 1回路 (ピンジャック)  
録音用出力2：+4dB 10k $\Omega$  不平衡 ステレオ出力(L/R) 1回路 (ピンジャック)  
エコーセンド：+4dB 10k $\Omega$  不平衡 モノラル出力 1回路 (単式ジャック)  
モニター出力：+4dB 10k $\Omega$  不平衡 ステレオ出力(L/R) 1回路 (単式ジャック)
- モノラルインプット：スレッショルド：+12dB～-4dB (+6dBにプリセット)
- コンプレッサ レシオ : 1:1～8:1 (8:1にプリセット)
- リモート回路：VCAリモート (モノラル入力5, 6)、電源制御 (ナイロンコネクタ9P)  
0dB=0.775Vrms
- 寸法：444(幅)×177(高さ)×160(奥行)mm (出荷状態：つまみなど突起部含まず)
- 質量(重量)：約5.6kg
- 仕上げ：前面パネル：マンセルN2.5近似色 半艶塗装  
背面パネルなど：マンセルN1近似色 半艶塗装

# リモコンについて (WR-X12K、X04、WU-L67 接続例)

No.	機器の接続	機能
1	<p>離れた場所から電源リモコンする場合 WR-X12K (又はWR-X04)とWU-L67の組み合わせ</p> <p>■系統図</p> <p>■接続方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● X12K(X04)の電源スイッチをONにするとL67がONとなりラック内へ電源供給する。</li> <li>③ L67の電源スイッチをONにするとラック内のみ電源供給できるが、下記注意が必要なためX12K(X04)による電源ON、OFFに限定すること。</li> </ul> <p>※ L67よりX12Kの電源ONはできない</p> <p>※ L67の電源スイッチをONした場合X12KからL67の電源をOFFすることはできない。</p> <p>※ 上記のような電源切り忘れを防ぐには、L67付属のスイッチカバーを用いてL67電源スイッチを使えなくし、X12K(X04)のみで電源ON、OFFする。</p>
2	<p>WR-X04からWR-X12Kをリモート制御する場合 WR-X04、WR-X12KとWU-L67の組み合わせ</p> <p>■系統図</p> <p>■接続方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● X04の電源スイッチをONにするとラック組み込みのL67がONとなりラック内へ電源供給する。</li> <li>● X04のリモートコントロールつまみを廻すことにより、X12Kのモノ入力5、6の音量が調整できる。</li> <li>③ X04のリモートコントロールがONになっているとX12K側からモノ入力5、6の音量調整はできない。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● L67の電源スイッチをONにするとラック内へ電源供給する。</li> <li>③ L67よりX04の電源ONはできない。</li> </ul>



No.	機器の接続	機能
3	<p>同一ラック内で電源リモコンする場合 WR-X12K (又はWR-X04) とWU-L67の組み合わせ</p> <p>■系統図</p> <p>■接続方法</p>	<p>●X12K(X04)の電源スイッチをONにするとL67がONとなり、ラック内へ電源供給する。</p> <p>② L67の電源スイッチをONにしてもX12K(X04)の電源はONできない。そのため、X12K(X04)からの電源制御を優先させるため、L67の電源スイッチには付属のスイッチカバーを用いてスイッチを使えなくし、X12K(X04)のみで電源ON、OFFしてください。</p>

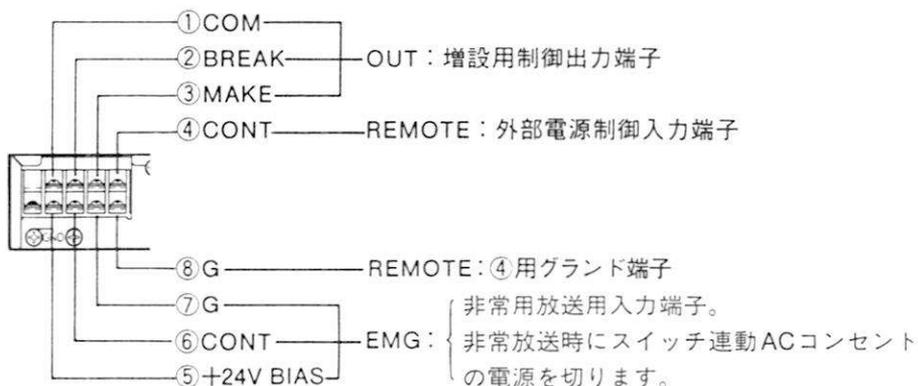
### ■ リモコン用線材について

- 線種は通信ケーブル(CPEV)、信号ケーブル(SVV)等の多心ケーブルを用いる。  
(注)VCA電圧制御においては他からの誘導ノイズの影響を受けやすいため必要に応じてシールド付のケーブルとする。
- 電源制御のみの場合は、ビニル絶縁電線(IV)を使用してもよい。
- 線路抵抗は往復で100Ω以下になるようサイズを選んでください。  
(注)100Ω以上ではVCAへの供給電圧が低下し定格出力が得られなくなる。
- 電源制御ユニットへの接続も、ワゴンのように移動が常時行われる場合は、断線が発生しやすいのでより線へ変更し端子の前でワゴン等へ線材を固定しておくこと。

### ■ サイズと抵抗値の関係

種類	導 体		単位長さ当りの導体抵抗 (20)Ω/km	往復100Ωの線材の長さ (m)
	サイズ	断面積(mm <sup>2</sup> )		
より線	AWG22	0.3	63.5	787
	AWG20	0.5	40.0	1.250
単 線	φ0.65mm	0.33	56.8	880
	φ0.9mm	0.64	29.2	1.712

### ■ WU-L67 ねじ式制御端子



# 工事説明

本機の工事は、必ず販売店に依頼してください。また、工事の場合は、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

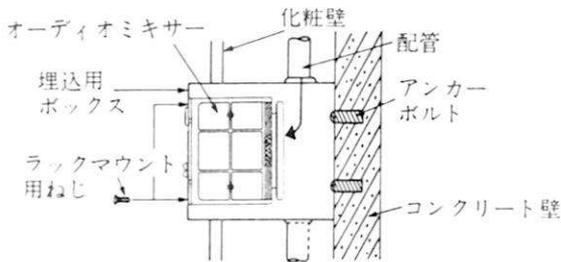
## 設置のしかた

	設置場所	ラックマウントアングルの付け替えかた	入出力コネクタパネルの付け替えかた
例 1	<p>ラックマウント</p> <p>壁に埋込み</p>	<p>出荷状態</p> <p>取付ねじ(両側2本ずつ)を外し、ラックマウントアングルの表裏、前後逆に付け替える。</p>	<p>出荷状態</p> <p>配線(コネクタ)の方向は後面。</p> <p>配線の方向(後面)</p>
例 2	<p>壁に直付け</p>	<p>出荷状態</p> <p>表裏を逆に付け替える。</p>	<p>コネクタパネルを上面に变える</p> <p>配線(コネクタ)の方向を上面に替えられます。</p> <p>配線の方向(上面)</p>
例 3	<p>テーブルに埋込み</p>	<p>出荷状態のまま</p>	<p>●内部のケーブルが部品にひっかかったり、コネクタパネルにはさまないように付け替えてください。</p>

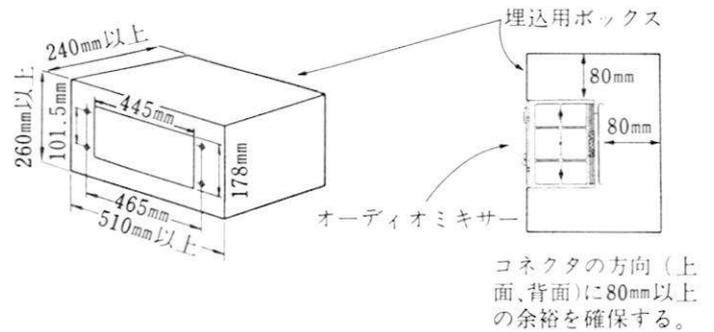
## 設置のしかた

## お願い

- 埋込用ボックス(松下電工製)を利用してください。



- ラックに取り付ける場合、電力増幅器や容量の大きい電源部などの上は加熱や電源ハムなどの悪影響を受けますので、避けてください。
- ボックスに板を使用する場合、板厚により、付属のラックマウントねじでは取り付けられない場合があります。その際は別途、取付ねじを用意してください。
- 現地にてボックスを製作する場合。



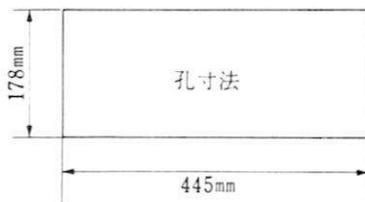
- 取り付け場所は、しっかりした柱や、板厚20mm以上の板壁に木ねじ(長さ15mm以上)または板壁用アンカーボルトなどで取り付けてください。

- 取り付け方法

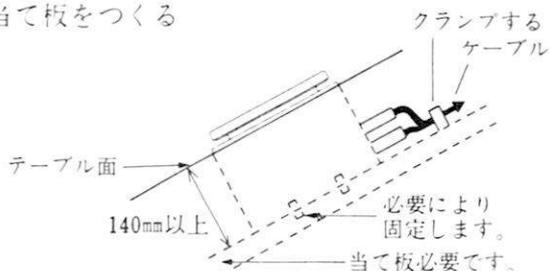


- ボード製の間仕切り程度に使用されている壁などへの取り付けは絶対に避けてください。
- 十分な保持力が確保できる取り付け構造にしてください。

- テーブルに孔を開ける

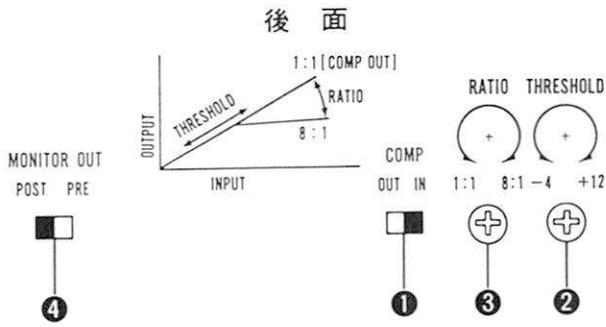


- 当て板をつくる



# 用途により変えられます

変える必要のないときは、そのまま使ってください。



## ■コンプレッサ(モノラル入力)を切る。

COMPスイッチ① IN →コンプレッサ入  
OUT→コンプレッサ切

## ■コンプレッサ特性を変えられます。

### ●スレッシュホールド(圧縮開始点)②

モノラルインプットへマイクで大きな声を入力し、スピーカーで音を聞きながら、スレッシュホールドボリュームを回して圧縮開始点を設定します。左に回すほど、入力レベルの低いところで圧縮が開始されます。

### ●レシオ(圧縮比率)③

レシオボリュームを回して、圧縮比率を設定します。右に回すほど大きく圧縮されます。

## ■モニタアウトのプリ/ポスト切換

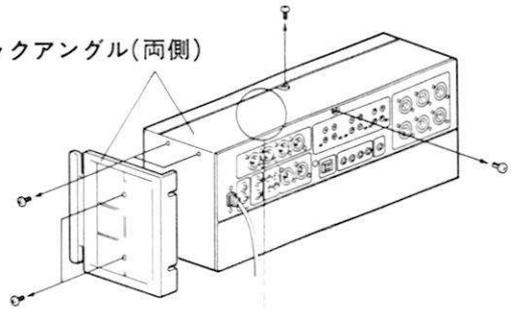
### 切換スイッチ④

プリ(PRE) →モニタースピーカー音量はメイン出力フェーダと無関係。  
ポスト(POST)→モニタースピーカー音量はメイン出力フェーダ1に比例する。

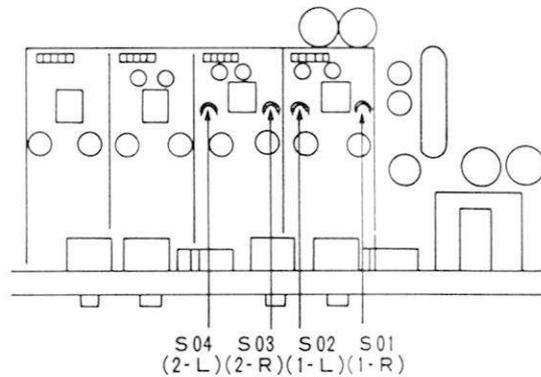
## ■ステレオ入力1,2のレベル変更(通常-10dB)

ジャンパー線 S01=入力1のR S02=入力1のL  
S03=入力2のR S04=入力2のL  
を切ると-20dBに変更できます。

上板とラックアングル(両側)をはずす。



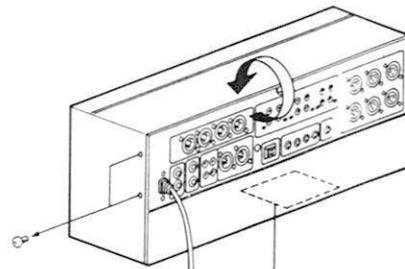
プリント基板



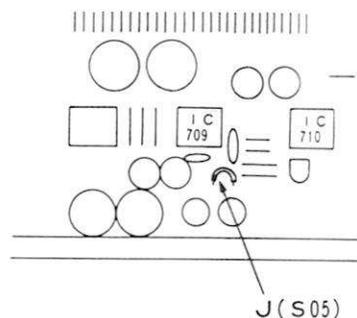
## ■ステレオ入力5のミュート機能解除

下側基板上的ジャンパー線J S05)を切る。

更にコネクタパネルをはずし、上に移動する。

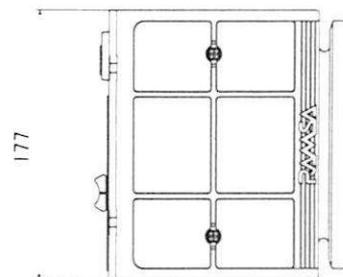
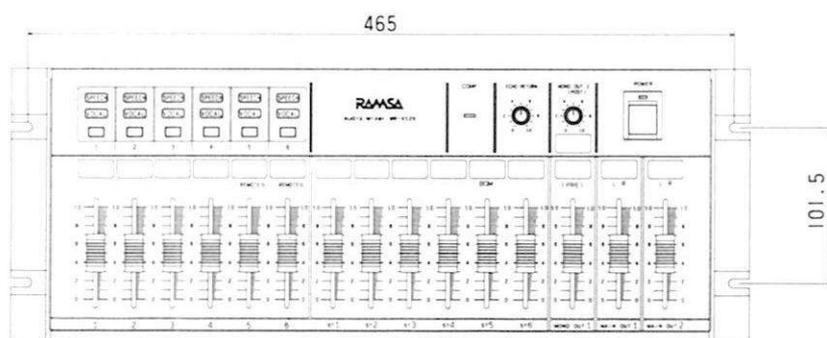
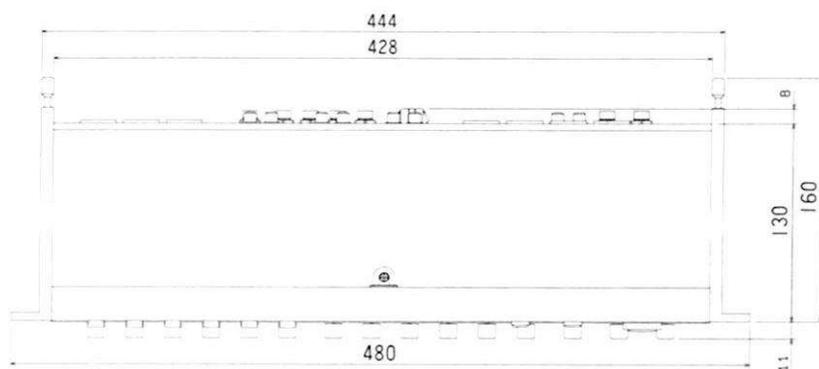
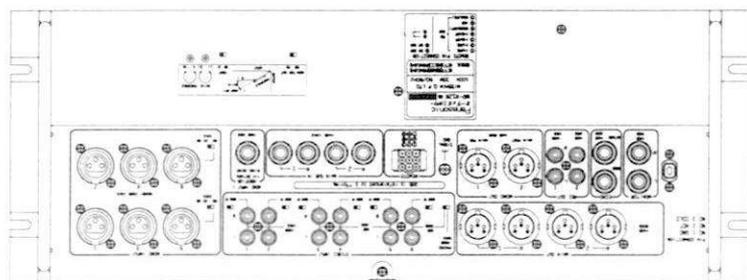


プリント基板



# 外觀寸法図

※この図はラックマウント時の寸法です。



単位	mm
縮尺	1/5

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## ■保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、オーディオミキサーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 上 げ 年 月 日	年	月	日	品 番	WR-X12K
販 売 店 名				☎	( ) —

松下電器産業株式会社  
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部  
〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

NN00997-0

A8QA4757AN